

当院の教育担当者及び実地指導者の役割

新人看護師は、日々の臨床現場において、主に実地指導者であるプリセプターから基本的な看護技術や社会人としてのマナーを学び、更に精神的支援を受ける。また、教育担当者であるサポーターが立案した中長期的視点に立った計画のもと、教育的支援を1年にわたって受ける。

一方、指導者の支援体制として、実地指導者であるプリセプターは主に教育担当者であるサポーターから様々な支援を受け、サポーターは部署の教育委員、主任、係長及び師長からアドバイスや支援を受けるといった屋根瓦式教育体制をとっている。

また、組織図上のラインによる支援とは別に、新人看護師、実地指導者、教育担当者共に、Off-JTとして、3ヶ月、6ヶ月、1年(新人看護師・サポーターのみ)時に、全部署対象のフォローアップ研修を受講する。この研修によって、他部署における同じ立場の同僚と、悩みや価値観を共有し、今後の取り組みの方向性を見出すことができ、ピアサポートグループの形成によって、モチベーションを維持することができる。

教育担当者・実地指導者研修の目標

新人看護職員臨床研修担当者研修

1. 看護基礎教育・臨床現場の現状から新人看護職員の実態を学び、求められる教育支援について考える
2. 看護の専門職業人としての生涯教育、キャリア開発、キャリア支援について学ぶ
3. 教育担当者に求められる要件と役割を学ぶ
4. 病院における新人看護職員の教育プログラムの構築、運営、評価について学ぶ
5. 病院における新人看護職員の教育プログラムを作成することができる

実地指導者育成研修

1. 当院における新人看護職員の教育システムについて理解する
2. プリセプター・サポーターの役割を理解する
3. 臨床現場で指導を行なうにあたっての基本的態度を学ぶ
4. 当院における新人看護職員の教育プログラムの構築、運営、評価について学ぶ
5. 事例をとおり、新人看護職員への具体的な指導を考える